

平成30年度 国民医療費の概況訂正について

標記について概況の一部に誤りがあったため、下記の通り訂正しました。

記

概況9頁

7 都道府県別国民医療費

(誤)

都道府県（患者住所地）別にみると、東京都が4兆4,838億円と最も高く、次いで大阪府が3兆1,725億円、神奈川県が2兆7,543億円となっている。また、鳥取県が2,037億円と最も低く、次いで島根県が2,627億円、福井県が2,691億円となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、高知県が45万2,500円と最も高く、次いで徳島県が43万3,800円、鹿児島県が42万3,100円となっている。また、神奈川県が30万100円と最も低く、次いで愛知県が30万3,300円、千葉県が30万4,700円となっている。（図4、統計表第7表）



(正)

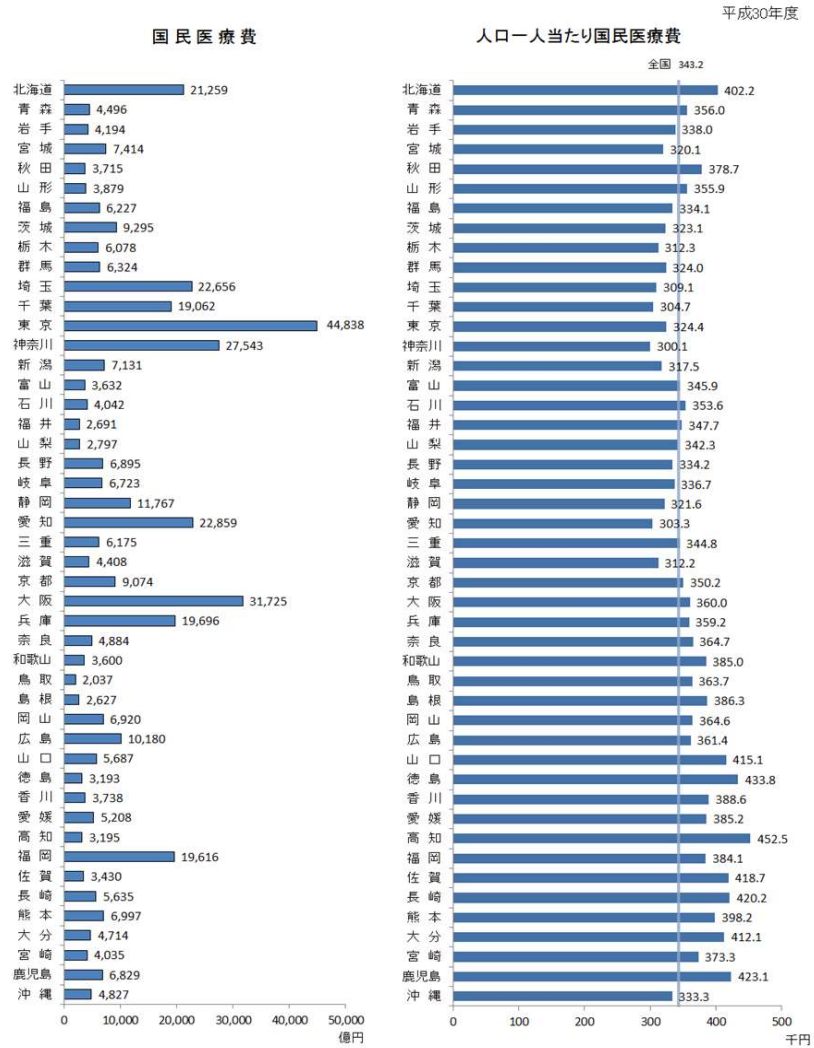
都道府県（患者住所地）別にみると、東京都が4兆3,407億円と最も高く、次いで大阪府が3兆3,016億円、神奈川県が2兆8,081億円となっている。また、鳥取県が2,018億円と最も低く、次いで島根県が2,616億円、福井県が2,689億円となっている。

人口一人当たり国民医療費をみると、高知県が45万5,300円と最も高く、次いで長崎県が42万3,700円、鹿児島県が42万800円となっている。また、千葉県が30万800円と最も低く、次いで埼玉県が30万2,700円、神奈川県が30万6,000円となっている。（図4、統計表第7表）

平成30年度国民医療費の概況（統計表） 正誤表

【誤】

図4 都道府県別にみた国民医療費・人口一人当たり国民医療費



【正】

図4 都道府県別にみた国民医療費・人口一人当たり国民医療費

